

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 担い手育成総合支援協議会活動負担金
-------------------	--------------------------------

区分	番号	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	2	自然を活かした産業の育成
施策	1	特色ある農業・漁業の推進
小分類	3	ゆとりある酪農・畜産経営の促進
主要な施策	1	新規就農者、担い手農業者への支援
事務事業番号	006	事務事業コード 32131006 事業開始年度 平成 1 7 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	担い手育成支援協議会活動負担金
------	------	------------	-----------------

部 名	観光経済部	グループ名	農林水産 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 地域農業を支える経営体や組織の育成に向け、農業の担い手育成諸対策を推進するため。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 市・農業委員会・伊達市農協・農業者を委員とし、登別市担い手育成総合支援協議会を設立し、認定農業者制度の普及・推進、農業経営改善計画の作成指導、認定農業者等の経営診断、農業経営の法人化相談・指導、集落営農の組織化に向けた合意形成活動の支援など行っていく。
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 認定農業者制度の普及・推進を行った結果、新たに 2 経営体が認定農業者となった。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) 登別地域担い手育成総合支援協議会規約

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	認定農業者	人	目標値	18	19	20	21	22
			実績値	2	/	/	/	/
			目標値					
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円	10	10	10	10	10	30
	一般財源	名称	千円	30	30	10	10	10	30
合 計				40	40	20	20	20	60
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	100	102			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		100	102			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ これからの農業施策において、担い手である認定農業者の確保・育成は必要な事業であり、妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 認定農業者が増える傾向にあるので成果は上がっている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 市・農業委員会・伊達市農業協同組合・胆振農業普及改良センターが一体となり認定農業者の確保・育成に努めて行きたい。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ この協議会の運営に、市の負担金は不可欠な為削減することは難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	新たな食料・農業・農村計画により、効率的且つ安定的な農業経営及びこれを目指して経営改善に取り組む農業経営者を育成・確保することが急務である。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）